

令和 6 年度（2024 年度） 第 6 回小原地域会議 会議録

開催日時	令和 6 年 10 月 1 日（火）	開会	閉会
		午後 6 時 30 分	午後 8 時 30 分
会 場	小原支所 第 2 会議室		
出席者	委 員	竹内正美（会長）、白川悠理（副会長）、成瀬友昭、景山卓己、安藤茂則、大林鐘次、小出透、板倉正則、増岡正博、加藤元紀、山内明、成瀬啓一、田澤由佳、鈴木孝典、濱辺誠一、無州麻美	
欠席者	岡田錬治		
次 第	1 開 会		
	2 あいさつ		
	3 おばらみらいプランの事業化について		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の振り返り ・ 地域課題解決事業「事業計画書」について 		
	4 その他（連絡事項）		
	閉会		

◆議事録

3 おばらみらいプランの事業化について

- ・ 前回の振り返り
- 事務局より資料に基づき説明

●委員からの意見等

資料「里の駅の機能」（添付資料）に基づき、里の駅に持たせるべき機能を検討

- ・ 小原に里の駅が必要なのは、人がいなくなってしまうからで定住が目的。地域会議ではこれを共通認識としていかないといけない。
- ・ 小原地区外の 2-30 代がどうしたら小原に住みたいか？度々足を運んでもらうにはどうしたらよいか？
 - 小原の暮らしが体験できることが大事になる
 - まずは小原の魅力を知ってもらうことが重要
- ・ 里の駅は世代を超えた学び合い・教え合いができる場であり、地区外の人々との交流の場であり、文化や知恵を共有・継承できる場としたい。

- ・クリエイション+イマジネーションが小原の魅力。
 - ・「情報を集めて、マッチングさせる」これを提供する場とする。
 - ・施設ではなく、機能を考えているが、だれがそれを担うのか、だれが使うのかを想定しておく必要がある。
 - ・持たせたい機能は出てくるが、それをなぜ里の駅でやるのか、理由付けが必要。その理由付けがしっかりと認識されないと、小原地区の人たちに理解してもらえないと思う。
-

次回日程

第7回定例会 10月29日(火) 午後18時30分～20時30分
小原支所2階 第2会議室
